

# さあ、大磯で 君の物語をはじめよう！

インターンシップで大磯をめぐり、大磯を体感した神奈川大学生。彼らに大磯の魅力を紹介してもらいました。

日本で最初にできた海水浴場  
法学部3年 永島 優太さん

大磯海水浴場は今から130年以上前に開設された日本で最初の海水浴場です。

海水浴場へのアクセスは、大磯駅から徒歩10分と非常によく、手軽に來ることが出来ます。車でお越しの方も海水浴場近くの駐車場代は比較的安く、駐車スペースも広いため、車でも来やすい環境となっています。

大磯海水浴場は、江の島や茅ヶ崎方面の海水浴場と比べて家族連れが多く、小さなお子さんが楽しんでる姿をよく目にします。また、この時期には、海水浴場の近くの照ヶ崎海岸では「アオバト」という海水を飲む珍しい鳥を観察することが出来ます。実際に見てみると、「緑色で綺麗だな」と感じました。世代を問わず楽しむことができる海水浴場ですので、ぜひご家族でお越しください。

世代を問わず楽しめる

旧吉田茂邸  
法学部3年 谷田川 彩音さん

大磯で有名なスポットと言え

ば、平成29年4月1日から一般公開されている旧吉田茂邸ではないでしょうか。原因不明の火災で一度は焼失してしまった旧吉田茂邸でしたが、見事復活を果たし、現在では世代を問わず楽しめるスポットとなっています。ここでは、その魅力について迫っていきたいと思います。

まず、大きな魅力として考えられるのは、邸宅内の雰囲気です。雪月花が表されたお部屋や船型の浴槽、吉田茂の数々の本、ダイヤルのない黒電話、広い食堂などが当時を感じさせるようになっていきます。また、「バカヤロー」のオブジェや葉巻のベンチといった新しいものが、吉田茂の生き様を伝えてくれます。次に、魅力として考えられるのは、旧吉田茂邸からの眺望です。晴れた日には富士山も見えるそう、気持ちまで晴れやかなる景色は必見です。当時の雰囲気や眺望など、魅力のたくさん詰まった旧吉田茂

邸ですが、夏は来場者が少ないそうです。邸宅内はとても涼しく、心が落ち着ける場所となっていますので、ぜひ暑い夏にもお出掛けしてみたいかがでしょうか？ 受付ではグッズ販売も行っているの、チェックしてみてください。



▲施設の説明に熱心に耳を傾けている

大磯から将来のノーベル賞  
受賞者が誕生することを期待！  
法学部3年 河田 光陽さん

8月6日(月)に、大磯中学校で子ども科学実験講座が行われ、小学1年生から6年生までの子どもたちと、その保護者約40名が参加されました。私自身もお手伝いとして参加しました。実験講座の内容は、石を砕いて宝石を探す「宝石探し」や、顕微鏡を使用した、大磯の海に生息している「プランクトンの観察」。また、鹿沼土という土の中

の観察など、様々な内容となっていました。

参加した子どもたちは硬い石を砕くことや、顕微鏡の使い方に苦戦しながらも一生懸命に取り組み、石の中から宝石を取り出すことや、顕微鏡でプランクトンを観察することができていました。私はこの講座に参加して、大磯の子どもたちは、どんなに難しいことでもあきらめずに取り組み、「熱い気持ち」を持った子どもたちだなと思いました。

今回の講座に参加してくれた子どもたちにこれを機会に理科に興味を持ってもらい、この熱い気持ちをを持った子どもたちが将来のノーベル賞受賞者になってくれたら嬉しいですね。

大磯を知るならここ！

大磯町郷土資料館  
理学部3年 井川 昌彦さん

大磯町郷土資料館は「湘南の海と丘陵」というテーマを掲げ、昭和63年に開館しました。外観は、かの有名な三井家の別邸である「城山荘」をモチーフとして設計されています。館内は大磯の歴史や自然を、耳目を使って1年中楽しめる常設展示室と、その時々のお出来事や季節によって内容が変わる企画展示室に分かれています。そして、展示だけでなく、既存の展示品や大

磯の自然や歴史をより深く知ることが出来る講習や、古文書の修復作業などを体験できる講座が開かれており、「見ているだけではつまらない！」といったアクティブな方も楽しめるような工夫が施されています。

このように歴史を重ねた郷土資料館も、今年の10月に開館30周年を迎え、記念イベントとして様々なイベント企画が用意されています。また、偶然にも明治150年目が重なるということで、10月13日(土)から「明治150年企画展」が開かれます。観光客の方だけではなく、地元の方や一度来られた方も楽しめる内容だと思えますので、この機会にぜひ郷土資料館にお越しください。



▲広報原稿の作成に取り組む学生たち

問 総務課 内線2110